

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
発達と老化の理解 I Development and Aging I		1年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(介護福祉士養成課程 必修)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
こころとからだのしくみ 認知症の理解 障害の理解				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
介護福祉士資格取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
建守 善之	非常勤講師室	授業中にお知らせします		授業中に指示します
授業の概要				
発達理論などの発達に関する内容を理解し、高齢者の加齢に伴う心身の状況の特徴に関する基礎的な知識の取得を図る。				
授業の目標				
①発達理論(発達段階、発達課題)について知識を取得できるようにする。 ②高齢者の定義について知識を取得できるようにする。 ③加齢に伴う身体的な機能の低下について知識を取得できるようにする。 ④高齢者の病気の特徴について知識を取得できるようにする。				
授業の方法				
講義、演習、模擬授業、ディスカッションなどを取り入れる。				
学習の成果(学習成果)				
①発達理論をもとに発達段階を表でまとめることができ、積極的に課題に取り組むことができる。 ②加齢に伴う心身状況の変化などについて基本的事柄について説明できる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	発達と老化について学習内容を確認し、学ぶ意義を理解する。ガイダンス・概要説明。			
第2回目	人間の成長と発達について			
第3回目	老年期の発達と成熟について			
第4回目	老年期の発達と課題について			
第5回目	老年とは定義について			
第6回目	老化に伴う心身の変化について			

第7回目	老年期(介護事例)について まとめる
第8回目	老年期の心理的特徴について
第9回目	老化に伴うこころの変化と日常生活について (老いの価値観、喪失体験など)
第10回目	老化に伴うこころの変化と日常生活について (ぬれ落ち葉症候群、空の巣症候群など)
第11回目	老化に伴うこころの変化と日常生活について (高齢者の心の問題など)
第12回目	老化に伴うからだの変化と日常生活について (代謝機能の低下など)
第13回目	老化に伴うからだの変化と日常生活について (知能の低下など)
第14回目	老化に伴うからだの変化と日常生活について (老化に伴う心身機能の変化の影響など)
第15回目	発達と老化の理解のまとめ 全範囲の復習など 学んだことを整理する

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	教材を常に準備して臨んでいる。ディスカッションの場面では、積極的に意見を述べている。授業に集中し、ノートをきちんととっている。不明な点があれば積極的に質問している。
レポート	10%	出題者の意図に合致したものとなっている。詳細は(ガイダンス等で説明する)
調査報告書		
小テスト	10%	国家試験に準じた問題を解き、理解できたかどうかを確認する。詳細は(ガイダンス等で説明する)
試験	50%	授業で学んだ内容を中心に理解できたかどうかを確認する。詳細は(ガイダンス等で説明する)
発表内容 (態度含む)		
その他		

教科書と参考図書

教科書 : 「発達と老化の理解」 中央法規

履修上の留意点・ルール

目的意識・課題意識を明確にして授業に臨むこと。遅刻厳禁。飲み物等持ち込み禁止。
